

いただいたご意見と市の考え方

No.	意見	市の考え方
1	<p>アンケート調査の対象者は無作為抽出のことだが、回答の年齢層に偏りがあり、伊丹市として盛んに行われているスポーツがウォーキング・散歩という結果については疑問。</p> <p>計画を進めていくうえで、市内スポーツ団体等へのアンケートも必要ではないか。</p>	<p>今回は、現行計画の中間見直しであるため、策定時との比較の必要性から、対象者などアンケートの手法は、前回と同様といたしました。次回計画策定時には、アンケート手法も改めて検討いたします。</p> <p>また計画推進に当たっては、引き続き、市内スポーツ団体等とも連携し、意見をお聴きしながら進めてまいります。</p>
2	<p>スポーツセンターの陸上競技場をサッカーなどで活用しているが、施設の老朽化やグラウンドの整備（人工芝化）など、よく話を聞く。</p> <p>市民のスポーツ活性もそうだが、他市からも伊丹市でスポーツがしたくなるような施設が必要ではないか。</p>	<p>ご意見にあるとおり、本市の社会体育施設は、老朽化への対応を要する施設が増えてきております。今後施設の改修や更新に係る費用の増加が予想される一方、市民の施設へのニーズも多様となっています。今回の中間見直し案において、施設の整備計画について、今後、既存スポーツ施設の有効活用及び長寿命化を基本に、市民のスポーツ実施状況を視野に入れた、計画的な施設整備に取り組むこととしており、持続可能で安全・快適な魅力ある施設となるよう、検討を進めてまいります。</p>
3	<p>伊丹市立スポーツセンターの陸上競技場の改装をお願いしたい。</p> <p>学生時に陸上競技をしていたが、阪神大会以降の会場となる陸上競技場（尼崎陸上競技場、明石陸上競技場など）はタータンだったため、タータンでの練習不足による他校との能力差を感じていた。</p> <p>また、伊丹の学生は土用とタータン用の2種類のシューズが必要でもあり、費用面も大変だった。近年、陸上競技においては、住友電工さんの活躍も目覚ましく、伊丹の子供達の運動能力向上のため、改装を提案する。</p>	<p>上記「2」回答をご参照ください。</p> <p>スポーツセンター陸上競技場の改装も含め、全体的な整備の中で、検討してまいります。</p>
4	<p>みるスポーツへの設備の充実のため、予算は確保しているのか。</p>	<p>みるスポーツへの設備の充実についても、上記「2」記載の全体的な施設整備の計画の中で検討してまいります。</p>

5	地域に根付いたプロスポーツは考えにあるか。	プロスポーツチームの誘致等は計画しておりませんが、現行の計画に基づき、現役アスリート等による小学生等への指導等の機会を提供し、子どもたちや市民のアスリートとの交流を図っています。
6	中学校の部活を支える指導者は無償で活動するのか。	中学校部活動の地域移行における指導者の報酬は、今回の中間見直し案においても、保護者負担や運営財源の確保等と共に課題の一つとして、今後、学校や関係団体等の協議の場で検討していくこととしております。
7	ボランティアは無償か。	現在、イベント等のボランティアには、必要に応じ、交通費相当などの実費の支給等を行っております。
8	障がい者のスポーツの充実、参加、みるスポーツなどについてはいかがか。	障がい者スポーツについては、現行の計画に基づき、障がい者が楽しめるスポーツ、障がい者や健常者が共に楽しめるスポーツの教室・イベント等を実施していますが、中間見直し案では、更に、市障害者スポーツ協会と他のスポーツ関係団体やスポーツ施設との連携を図り、環境づくりに努めることとしています。
9	伊丹市以外の方が、市民の税金を使ったスポーツ施策を利用することについて、どう思うか。	事業・施策の内容によっては、対象者を市民に限定するものもありますが、市民以外の方の利用が、市民の利用を妨げず、事業や地域の活性化、市内外の人の交流に繋がる場合は、限定する必要はないものとしております。また、社会体育施設の利用については、市外料金を設定することで、市民の利用に配慮しています。
10	伊丹市施策なので、伊丹市民以外の方は、今回の施策に参加すると困るか。	上記「9」回答をご参照ください。
11	予算が足りない場合は、競艇頼みか。	施策推進に関する予算については、一般財源のほか、日本スポーツ振興センターの助成金や、国の補助等、有利な財源の活用を図るよう努めております。